

# セミナー通信

—教育実習総合センター—

## 教師力向上講座

来年度より、教壇に立つP3生が抱えている授業や学級経営等への不安や悩みを解消すべく、外部講師をお招きし、「授業力を磨こう」と題した実践サポートが始まりました。



藤原正伸 先生

第1回は、小野市教育委員会学校教育課主任の藤原正伸先生をお招きし、「理科好きの子を育み、科学的思考を高めるために」と題して講義を受けました。



理科

**P3生の感想より**  
○理科は実験が多く、教えるのが大変だというイメージがありました。先生は工夫次第で、こんなにも楽しく学ぶことができるのだというところが分かり、希望が持てました。

## 始まる!

○本当に楽しかったです。特に、水溶液の実験は、自分自身驚くことが多く、子どもになつて楽しめました。こんな気持ちで子どもにさせる教員になりたいと思いました。



○ただ教科書に載っている実験をそのままするのはなくて、不思議だなあと感じる実験を見つけてやってみることで、子どもたちが興味を持てると思えました。自分たちが見ても驚きの多い実験がたくさんあり、楽しくかつ勉強になりました。身近なものを用いてできる実験ばかりだったので、是非、自分が教師になったときにやってみようと思いました。



○実習でも、理科の授業についてではできなかったの、理科の授業づくりについて知るよい機会になりました。もう少し勉強したいといけなさと感じました。

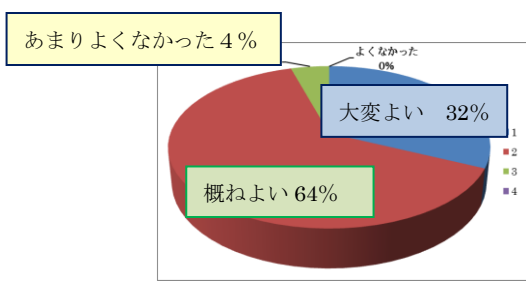
○実験の内容、原理を知り、即実践できるような実験を学ぶことができました。実験の内容だけでなく、指導方法も学ぶことができました。今日の実験でも、自分の知らないことが多々あり、学ぶ・知る・分かる喜びを子どもの気持ちになつて、体験できました。

**「インターシップ」や「特支免許取得授業」の関係で16名の参加でしたが、「楽しく学べた」「今後の授業づくりに役立つ」等々、来春にかけられる思いが大きい膨らんだ時間になったように思いました。今後の参加者増を期待!**

# 前期「セミナー」アンケート結果!

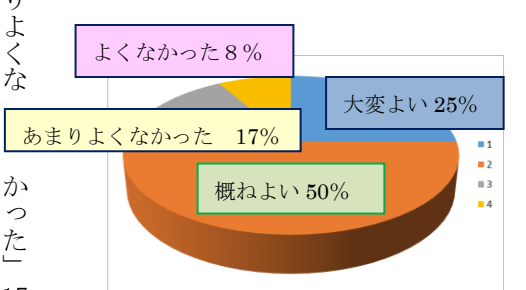
## P3生

### 教採サポートの評価



教育講演会・模擬授業・面接指導・集団討論等

### 実践サポートの評価



教育法規の事例研究

○「あまりよくなかった」17%の意見として、一回目のセミナーでは、兵庫県対策及び他府県に共通することをしてほしいとの要望がだされていきました。教採用「教員サポートの第一回オリエンテーション」で、「採用試験の

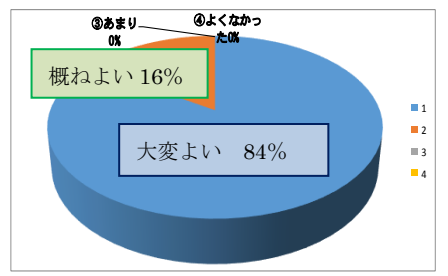
分析と展望—各自自治体の情報」と題した講義はしたのですが、実践サポートでも実施してほしいとの意見でした。院生の皆さんの意見は大いに反映したいと思えます。また、教採合格済のため不参加50%という結果も出ています。授業の組み立て、場面指導等は教師になったときに大いに役立つ内容です。是非とも、参加をして欲しいです。

## 来春、教壇に立つ者として、身につけたいことは?

- 算数科の授業づくりに関する力
- 学級経営力、授業力、授業実践力
- 日々の授業の組み立て、実践、振り返りができる力
- 多様な指導法、体力、健康意識
- 指導技術や保護者、子どもとの関わりについて
- 板書や発問のような実践的な授業力、学級経営力
- 不安があるようだが、後期は、現場で優れた実践のある先生方をお招きしています。皆さんの要望に応えられるセミナーであると自負しています。実践力を身につける絶好のチャンスです。大いに参加して、不安を払拭してください。

## P1生

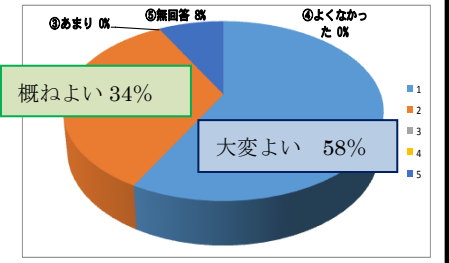
### 実践サポートの評価



西脇小学校訪問

恒例となつてきている小学校訪問。明治6年創立の歴史溢れる西脇小学校訪問は、今年で4年目でした。子どもたちのきらきら輝く瞳に思わず笑みがこぼれたり、先生方の授業の組み立て、発問、板書等に圧倒されたりの一日で、現場でしか味わえない体験にますます教師への情熱を燃やしたものでした。

### 実践サポートの評価



教育講演会・学校訪問・生徒指導の実際・小中連携・特別支援教育・先輩からのアドバイス等

「先輩からのアドバイスは先輩との繋がりができてよかった」「特別支援教育について学ぶ機会がなかった」といった「ディズニー」の精神が教育現場に当てはまるものであつて、面白いと感じました。「アドバイスが具体的によかった」「いろいろな授業が見られてよかった」等、92%が満足できた評価でした。実践に役立つセミナーをこれからも企画します。

## 要望について

- 今後もセミナーで支援して欲しいです。
- 現職の先生方や合格した人の話が聞くことができよかったです。
- 教養対策などをお願いいたします。
- 他の授業と重なり、セミナーが受けられない時のフォローをお願いしたいです。
- 貴重な意見を多数、ありがとうございました。後期及び次年度セミナーの改善・工夫に役立てていきます。

## P2生

P2生の結果については、12月号で掲載いたします。

## 論文指導始まる!

10月6日第一回目は、森コーディネーターから、論文のポイントおよび合格論文の書き方等について指導がありました。論文作成は、集団討論、個人面接等で、自分の考えや思いを述べるのに役立ちます。また、教育者としての姿勢を確立する上でも大事なことです。皆さんの熱い思いを共に語り合います。

